

東日本国際大学 AP シンポジウム

学生のコンピテンシーを 育成するカリキュラムとは何か

学生が身に付けるべきコンピテンシーをどのように明確化し、カリキュラムに組み込んでいくかが問われています。APテーマVではそうした諸能力を可視化、社会に提示する手法を開発し、質の保証への取組みを行っています。

ところで、社会福祉士や精神保健福祉士養成課程のような国家資格養成課程においては、一方で国家資格に合格できるだけの知識の確実な修得が問われますが、他方で資格を取得し、実際に現場に出た段階で必要とされる多様なスキルやコンピテンシー、またある種の態度などを、多量の知識習得と両立する形でどのように育てていくかが課題となります。

今回は、新潟大学大学院医歯学総合研究科の小野和宏教授・副学長（大学改革）をお迎えし、社会福祉士も同時に取得できる課程である新潟大学歯学部の口腔生命福祉学科での、PBL（Problem-Based Learning）を通じて課題解決能力やコミュニケーション能力を育成し、またその成果をパフォーマンス評価で把握する取組みをご紹介いただき、こうした課題に対してどのように応えていくことができるかを考えてみたいと思います。

11月14日（水）

東日本国際大学

福島県いわき市

3号館201教室

14時30分～16時30分

（参加無料）

参加申込はこちらのフォームから

<https://goo.gl/forms/On9nL9a8QGEVYRZI3>



東日本国際大学

小野和宏先生ご紹介

生きる基本である食べることを通じて保健・医療・福祉を総合的にマネジメントできる専門家の養成を目指す新潟大学歯学部・口腔生命福祉学科において、PBLを中心とし、多様なコンピテンシーの育成を行いつつ、パフォーマンス評価を行うカリキュラムの開発・実施に十数年に渡り取り組まれてきました。京都大学の松下佳代先生等と共にPEPAとして提案されているカリキュラム構成方法は、AP事業の中でも、高等教育機関が責任をもって実施できるコンピテンシー育成・評価とは何かという課題との関連で注目を集めています。

東日本国際大学 AP シンポジウム

学生のコンピテンシーを育成するカリキュラムとは何か

プログラム

14時30分～14時40分

開会挨拶・趣旨説明

14時40分～15時30分

問題解決能力の育成と評価

——新潟大学歯学部口腔生命福祉学科の取組——

新潟大学大学院医歯学総合研究科教授 小野 和宏 先生

15時30分～15時45分

東日本国際大学取組報告

東日本国際大学健康福祉学部教授 本多創史

15時45分～16時00分

休憩

16時00分～16時25分

質疑応答セッション

16時25分～16時30分

閉会挨拶

平成30年

11月14日（水）

東日本国際大学

福島県いわき市

3号館201教室

参加無料

参加申込はこちらのフォームから

<https://goo.gl/forms/On9nL9a8QGEVYRZI3>



東日本国際大学



問い合わせ先 AP推進室 0246-85-0232
ap@m.tonichi-kokusai-u.ac.jp